

# 葛飾区議会レポート



## 葛飾区議会議員 かわごえ誠一

### かわごえ誠一 プロフィール

●1963年3月川崎市生れ ●東海大学第二工学部建設工学科卒  
●立石在住32年 ●一男二女の父親 ●防災士 ●本田消防団第四分団員 ●葛飾区ボッチャ協会会長 ●保育園/学童保育クラブ父母会、小・中学校PTA、おやじの会、図書館友の会、三番瀬保全活動などに携わる ●元東京工業大学附属科学技術高校非常勤講師 ●元都議会議員伊藤まさき秘書を経て平成25年区議選で初当選・平成29年二期目当選 ●議会所属: 文教委員会副委員長、地域活性化・区民サービス向上対策特別委員会

## 2021年の新年に寄せて

◆新型コロナウイルス感染症・COVID-19に罹患された方や、関係される皆様にお見舞い申し上げますとともに、最前線でご尽力いただいている皆様に心から敬意を表します。  
◆感染拡大により1月7日に政府より緊急事態宣言が発出されました。引き続き社会的に弱い立場の方々への影響が懸念されます。今こそSDGsの理念である「誰一人取り残さない」社会の実現が求められていると強く感じています。◆区議会の任期も昨年11月で3年が過ぎ、残り1年を切りました。残りの任期、改めてより良い社会を目指して尽力してまいります。

## 令和2年第四回定例会閉会 第7・8次補正予算成立

◆12月11日に区議会第4回定例会が閉会しました。本会議初日の第7次補正予算36億8,127万円に続き、最終本会議に第8次補正予算3億8,983万円が上程され成立しました。  
◎希望をする65歳以上の高齢者・基礎疾患を有する方にPCR検査の実施(自己負担3000円)  
◎介護施設・福祉施設職員等PCR検査拡大 ◎一人親世帯臨時特別給付金(一世帯5万円)  
◎営業時間短縮感染症防止協力金(東京都協力金40万円に区として10万円上乗せ)

## かつしか区民連合令和3年度予算要望提出

◆去る10月28日にかつしか区民連合として青木かつのり区長に「令和3年度予算要望書」を提出しました。区政全般の課題と合わせ、昨年二回にわたり提出した「新型コロナウイルス感染症に対する要望書」の経過を見据え、さらに充実をすべきことなどを要望いたしました。特に今後想定される財政難に対し、行財政改革を進めることと共に、多様化する課題に対し、きめ細やかな支援を求めました。  
※コロナ対策については今後、区民連合として改めて要望をしてまいります。



青木区長に要望書を手渡すかわごえ誠一

### — 新型コロナウイルス感染症 COVID-19 —

## 緊急事態宣言発出

### ●新型コロナウイルス感染症が心配なときは

#### ▶ 症状があるとき

「発熱」「咳」「だるさ」「頭痛」「におい・味がしない」など

#### ▶ かかりつけ医に電話で相談

#### ▶ かかりつけ医がない・休診の時など

- ▶ 東京都発熱相談センター 03-5320-4592 (毎日24時間)
- ▶ 葛飾区新型コロナ受診相談窓口 03-3602-1376 (平日/8:30~17:15)

#### ▶ 症状がないとき

感染したかもしれないと不安を感じる場合・感染予防法を知りたいなど

- ▶ 葛飾区新型コロナウイルス感染症相談電話 03-3602-1399 (平日/8:30~17:15)
- ▶ 東京都新型コロナウイルス感染症電話相談 多言語対応(日・英・中・韓) 0570-550571 (毎日/9:00~22:00)
- ▶ 東京都・聴覚障害のある方【FAX】03-5388-1396
- ▶ 厚生労働省・0120-565-653 (毎日/9:00~21:00)

## 緊急事態宣言に伴う葛飾区の対応について概要

- ◆緊急事態宣言 1月8日(金)から2月7日(日)まで
  - ◆緊急事態宣言中の飲食店への都の感染症拡大防止協力金(時短営業)に区独自で10万円の上乗せ(1月8日から2月7日)
  - ◆区立学校・総合教育センター → 感染症対策を徹底のうえ継続。  
※期間中の部活動、校外での活動などは休止。(3月に予定している修学旅行等は、今後の感染状況を見たうえで検討)
  - ◆保育園・学童保育・児童館など → 感染症対策を徹底のうえ継続。
  - ◆地区センター・文化会館・テクノプラザ・ウイメンズパルなど → 20時に閉館(日中は感染症対策を施した上で通常通り開館。期間中の夜間部分などのキャンセルは使用料を返還。※詳細は各館へ確認を)
  - ◆図書館 → 中央・地域図書館 → 20時閉館 / 地区図書館 → 17時閉館
  - ◆スポーツ施設 → 20時に閉館(期間中のキャンセル料は徴収しない)
- 詳細 → 葛飾区 HP [緊急事態宣言に伴う区施設等の対応について](#)

## 東京都の緊急事態措置について

- (1) 都民向け: 不要不急の外出自粛、特に20時以降外出自粛要請。
- (2) 事業者向け: 営業時間の短縮・イベント等開催制限の要請。

## 緊急事態措置等・感染拡大防止協力金相談センターの設置

- ◆東京都の緊急事態等に対する都民や事業者の疑問・不安や感染拡大防止協力金に関するコールセンターを開設。  
03-5388-0567 (9:00~19:00 土・日・休日含む)

◆タウンミーティング中止のご案内 2月4日に予定していたタウンミーティング・学習会「コロナ禍であぶり出された子どもの貧困の現実」は、緊急事態宣言期間中のため中止させていただきます。今後、感染症の収束状況を見ながら改めて企画をいたしますので、ご理解の程よろしくお願いたします。  
◆街頭活動の自粛について 緊急事態宣言期間中の街頭活動等を自粛いたします。日常の活動状況はHPやSNS等で発信いたします。よろしくお願いたします。

ご意見・ご要望をお寄せ下さい。かわごえ誠一 web → <https://www.kawagoeseiichi.com>

## 問合せ 連絡先

### かつしか区民連合

〒124-0012 葛飾区立石 5-13-1 葛飾区議会内  
電話 03-3695-1111 (代)  
FAX 03-3697-0137

### かわごえ誠一連絡先・問合せ先

〒124-0012 葛飾区立石 8-47-18  
携帯電話 090-2932-7315  
e-mail [info@kawagoeseiichi.com](mailto:info@kawagoeseiichi.com)

## 葛飾区議会レポート

令和二年区議会第三回定例会 かわごえ誠一 一般質問 報告  
「BUILD BACK BETTER」～より良い社会に向けて。

◆去る2020年9月15日の葛飾区議会第三回定例会本会議において、かわごえ誠一が一般質問をしました。ここに一部で紹介いたします。

## ▶ 1. 新型コロナウイルス感染症から「BUILD BACK BETTER」～より良い社会に向けて

◆東日本大震災の後に語られた言葉に「Build Back Better=より良い復興」があります。災害とも言えるコロナ禍で様々な課題が表面化した今、求められることは「コロナ前と同じ社会に戻る」ことではありません。課題を克服し「誰一人取り残さない」以前よりもより良い社会を目指し、知恵と力を出し合うことが求められています。今の課題強化と将来への対応の強化を求めました。

**質問：かわごえ** 危機管理の課題として感染症に特化した組織体制の見直し（管理職の配置）などの検討を！**答弁：区長** 新たな課題にも迅速かつ柔軟に対応できるように進めていくことが重要だ。区民へのワクチン接種など、新たな業務も想定されるが、様々な視点からの課題を整理しながら、今後の組織整備に取り組む。→感染症対策特命担当課長設置へ**質問：かわごえ** 感染症のリスクを分散、軽減し、事業の継続性を担保するためにテレワークをはじめとしたICTを推進するための体制整備を急ぐべき。**答弁：総務部長** ICTの活用により、離れていても打ち合わせや相談なども可能となり、事務の更なる効率化とともに区民サービスの向上が図られる。コストと効果の両面で適切な手法の検討を進め、早期の環境整備に努める。→デジタル推進担当部長設置へ**質問：かわごえ** 環境面以外もSDGsに基づく施策を進めるとともに、ゼロエミッション宣言の達成に向けてどのように取り組むのか。**答弁：区長** ゼロエミッション達成に向け、再生可能エネルギー利用の更なる促進や、カーボンオフセットなどの実施を検討する。具体的な取り組みやロードマップは、今後策定する第3次葛飾区環境基本計画の中で明らかにする。今後もゼロエミッションを含め経済・社会・環境について、SDGsの取り組みを推進する。**質問：かわごえ** 今後、歳入面が厳しくなると予想されるが、財政の見通しはどのように想定しているか。**答弁：政策経営部長** 新型コロナウイルス感染症の影響により、リーマンショック時を上回る大幅な税収減といわれている。令和3年度の当初予算編成に当たっては、これまで培ってきた財政対応力を活用し、基金の活用や抑制してきた起債の活用を視野に入れて、区民サービスが低下することのないように編成したい。

## ▶ 2. シティセールスとシビックプライドについて

◆人口導入政策としてのシティセールスと、住民等が主体的にまちづくり等に参画し、地域に誇り～シビックプライドを持つ取り組みがさらに重要になります。葛飾区の今後の方向性を伺いました。

**質問：かわごえ** シビックプライドを醸成するための方策を基本計画で位置づけ、区民の多様な活動の支援を進めてはどうか？**答弁：区長** 新たな基本計画において、協働の推進を重要な取り組みに位置付け、まちと人とのつながりを深め、区民が誇りを持って地域で生き生きと活躍する社会を目指す。

## ▶ 3. 避難所の整備について

◆感染症が拡大する中でも水害や大地震など、いつ起こるかかわらない大きな災害に備え、避難所などの充実を求めました。

**質問：かわごえ** 地域での防災意識向上のため、マイタイムラインをもとにした講座の開催を進めてはどうか。**答弁：区長** 水害ハザードマップを全戸配布するとともに、各地域で説明会を開催して、マイタイムラインについての啓発を行ってきた。今後、地域や団体等の要望に基づき出前講座を開催し、マイタイムラインの作成支援を行う。**質問：かわごえ** 学校避難所の感染症対策として、備蓄品の拡充などの整備を！**答弁：危機管理・防災担当部長** サーモカメラ等、感染拡大防止用品の整備を進め、避難所受付等での感染防止対策の強化や運営の負担軽減を図る。→サーモカメラ、フェイスシールドなど備蓄実施**質問：かわごえ** 風水害が事前に予想される場合の自宅待機の感染症陽性者への事前連絡、濃厚接触者の対応は？**答弁：危機管理・防災担当部長** 災害時には自宅療養者は、保健所からの連絡により、在宅避難または都の宿泊施設に入所となる。濃厚接触者は「避難所における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に基づき、避難所受付でチェックシートによる確認をし、専用スペースへ誘導する。保健所から、濃厚接触者について在宅避難のほか、避難所受付で申し出るようにうながす。**質問：かわごえ** 福祉避難所への支援体制をどのように整備するか。**答弁：危機管理・防災担当部長** 福祉避難所への支援体制について、マニュアル等の検討を行う。新型コロナウイルス感染症で、福祉施設での受入れが厳しいとの意見もあり、引き続き運営法人と意見交換し、体制を整備をする。**質問：かわごえ** 区内の都立学校を避難所として開放するための体制整備についてうかがうとともに、福祉避難所として各都立特別支援学校との連携を進めるべきと考えるがどうか。**答弁：危機管理・防災担当部長** 都立学校を第2順位避難所として開設するため、具体的に夜間及び土日でも確実に連絡を取り合える連絡体制の確保や、鍵の貸与を含めた調整を行っている。特別支援学校は、特別な配慮が必要な方々の受入れに適した設備を有することから、福祉避難所としての活用も含めて調整を続ける。

## ▶ 4. 子ども未来プラザについて

◆子育て支援拠点施設として子ども未来プラザが区内7カ所に整備される予定ですが、建物だけでなくソフト面の充実を求めました。

**質問：かわごえ** (仮称) 子ども未来プラザ東四つ木建設においては、隣接する渋江東公園と施設の接続や将来的な活用などを視野に入れ、公共空間として一体的な整備を進めるべきだ。**答弁：区長** 渋江東公園が隣接する利点を生かし、公園を活用した積極的な事業展開に取り組むことを検討する。**質問：かわごえ** ガイドラインにある「子育て支援機能の強化」としての「子育てネットワーク」の構築はどのように考えているか。**答弁：子育て支援部長** 地域には、様々な専門機関や事業者、支援団体やボランティアがおり、重要な社会資源となっている。これらの方々が相互に情報を共有し、有機的な連携や協働を図ることで、いっそう大きな相乗効果が期待できる。さまざまな地域の団体などに参加を求め、ネットワークの構築を図りたい。**質問：かわごえ** 子ども未来プラザでの多様なサービスを区内全域で実行するため、全体の統括、ソーシャルワークの充実、スーパーバイズなど専門的な支援が必要だ。**答弁：子育て支援部長** 今後、子ども未来プラザを7カ所整備していく中で、児童館職員等の研修内容を充実させ、職員の育成や専門性を深めるとともに、実質的なスーパーバイザーであるコーディネーターを中心とした体制のもと、本庁の管理部門と連携をしながら機能の充実を図る。

一般質問に登壇するかわごえ誠一